



いけだ

令和8年(2026年)8月1日

IKEDA City Council News

市議会

たより

200号

池田市議会本会議の
ライブ中継を
行っております！

池田市議会 ライブ中継



* 目次 Contents

主な審議内容	2・3
委員会レポート	3・4
議決結果	5
一般質問	6~11
市議会の1年カレンダー	11
議会日誌	12
議会の予定	12
やまばと	12

主な審議内容

5月臨時会

5月臨時会は、5月14日に開会し、まず、市長から報告案件5件、議案2件並びに人事案件1件が提出され、いずれも承認・可決・同意しました。

その後、議長・副議長はじめ各委員会の委員等を選任し、閉会しました。

なお、議長・副議長、各委員会の委員については、掲載のとおりです。

就任の挨拶



議長 西垣 智



副議長 倉田 晃

市民の皆様には、平素から池田市政並びに池田市議会に対し、温かい御理解と御支援を賜り、心より感謝申し上げます。

このたび私どもは、5月臨時会におきまして、議長・副議長に就任いたしました。もとより微力ではございますが、市民の皆様の期待に応えるべく、全身全霊で取り組んでまいり所存でございます。

さて、物価高騰の長期化、少子高齢化の進展、激甚化する自然災害への備えなど、地方自治体を取り巻く課題は一層複雑化しております。

本市におきましても、暮らしを支える物価高騰対策、子育て支援の充実、公共施設の再編、

地域の防災力の向上など、将来を見据えた取組が求められております。このような状況を踏まえ、市議会といたしましても、活発な議論を通じて、その役割を果たしてまいります。

来年4月には市議会議員選挙を控えており、次期選挙から本市の議員定数は22人から21人となります。新たな定数のもとでも、議会の権能や機能を低下させることなく、市民の皆様の声を市政に届けられるよう、議員一人一人がより一層研さんを重ね、「開かれた議会」の実現に努めてまいります。

今後とも一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます、就任の挨拶といたします。

議会選出の監査委員に三宅正起議員

今回、議会選出の監査委員に、三宅正起議員を選任しました。

監査委員とは、地方自治法に基づき、市やその関係団体の予算執行や事務処理が正確に行われているかどうかを監視するのが主な仕事です。

常任委員会

◎委員長 ○副委員長

委員会名	定数	委 員 氏 名							
総務委員会	6	◎安黒 善雄	○園部 佳子	守屋 大道	松本康二郎	西垣 智	山元 建		
文教病院委員会	6	◎多田 隆一	○土田 麻衣	名村研二郎	下窄 明	沖本 純子	三宅 正起		
厚生委員会	5	◎浜地慎一郎	○笹村有理子	坂上 昭栄	藤本 昌宏	藤原美知子			
土木消防委員会	5	◎荒木 眞澄	○古川 裕倫	中田 正紀	倉田 晃	小林 義典			

議会運営委員会

◎委員長 ○副委員長

定 数	委 員 氏 名							
8 (欠1)	◎西垣 智	○倉田 晃	土田 麻衣	中田 正紀	藤本 昌宏	園部 佳子		
	小林 義典							

特別委員会

◎委員長 ○副委員長

委員会名	定数	委 員 氏 名							
空港・交通問題調査特別委員会	10	◎中田 正紀	○園部 佳子	坂上 昭栄	守屋 大道	土田 麻衣	沖本 純子		
		松本康二郎	藤原美知子	荒木 眞澄	三宅 正起				
まちづくり防災特別委員会	10	◎小林 義典	○名村研二郎	下窄 明	笹村有理子	古川 裕倫	藤本 昌宏		
		山元 建	多田 隆一	浜地慎一郎	安黒 善雄				
市議会だより編集特別委員会	6	◎坂上 昭栄	○園部 佳子	笹村有理子	藤本 昌宏	藤原美知子	小林 義典		

主な審議内容

6月定例会



6月定例会は、6月4日に開会し、市長から報告案件4件と議案12件、並びに人事案件3件が提出され、本会議及び委員会で審議を行い、いずれも可決・同意しました。

6月29日・30日の継続会では、市民の声を広く市政に反映させるため、17人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

また、市長から提出された追加議案2件を審議し、原案どおり可決し、6月定例会を閉会しました。

一般会計繰越明許費※繰越計算書の報告

本年3月の定例会において可決した国の補正予算に係る国庫支出金を活用した事業などの予算を、本年度に繰り越したことが報告されました。

繰り越した事業としては、高校・大学生等食料品支援事業、多世代交流施設整備事業、物価高対応子育て応援手当給付事業、ごみ収集車購入事業、プレミアム付デジタル商品券事業、五月山動物園整備事業などがあります。

※繰越明許費とは、歳出予算の経費のうち、年度内にその支出が終わらない見込みのあるものについて、翌年度に繰り越して使用することができる経費のことです。

永年勤続議員表彰 全国市議会議長会総会において、山元議員、浜地議員、小林議員が15年勤続表彰を受けました。

高齢者にギフトカードを送付

6月29日の継続会において、物価高騰の影響を受けている高齢者を応援するための一般会計補正予算案が提出されました。

審議の中では、「現金給付ではなくギフトカードの送付とした理由」「送付時期」「対象者数」「市内事業者への経済効果」などについて質疑を交わしましたが、結局、全会一致で可決しました。

《対象者》

基準日（令和8年7月1日）時点において、本市の住民基本台帳に記録されている昭和37年4月1日以前に生まれた方

《給付額》

1人当たり3千円

《送付時期》

令和8年9月～10月（予定）

委員会レポート

総務委員会

旭丘会館及び花園会館を廃止する理由は《共同利用施設条例の一部改正》《地域会館条例の制定》

共同利用施設条例の一部改正の提案については、共同利用施設である旭丘会館及び花園会館を廃止するものである。

両会館はこれまで学習室としての利用も含め多数の利用実績があり、災害時等の避難所としても重要な役割を担う施設であると認識している。

また、地域住民から存続を求める声も上がっている中で、廃止に至った理由について問う。

両会館を廃止するに至った理由は、人口減少や少子高齢化、施設の老朽化が進み、今後厳しい財政状況が見込まれる中で、持続可能な行政サービスを提供していく必要があるためである。

両会館については、敬老会館との集約

化・複合化を図り、これまでの地域活動機能を維持するとともに、世代を超えた交流の促進につながる施設として、多世代交流センターの整備を進めるものである。

今後、両会館の利用者には丁寧な説明を行うとともに、再整備により学習室も含め多様な用途に対応が可能である同センターを案内していく。

また、災害時の対応として同センターを指定緊急避難場所に指定することを予定しており、あわせて民間施設の活用も検討していきたい。

●その他の審査議案

- ・指定管理者による公の施設の管理に関する条例の一部改正
- ・一般会計補正予算

など

文教病院委員会

こども誰でも通園制度の利用料改定における検討の経緯は《幼稚園型認定こども園条例の一部を改正する条例の一部改正》

問 今回の提案は、本市の幼稚園型認定こども園における特定乳児等通園支援事業、いわゆるこども誰でも通園制度の利用料の額を、本年3月定例会で市町村民税非課税世帯については1時間までごとに60円、市町村民税所得割合算額7万7,101円未満の世帯については90円と可決したものを、いずれも100円へと変更するものである。

利用者の負担が増加することになるが、子育て支援の観点から、据え置くことにつ

いてどのような検討を行ったのか、問う。
答 利用料の額の変更については、今回の国の制度改正を受けて、利用料の額を据え置くのか、あるいは引き上げるのかについて検討を行った。

その中で、本制度は市町村を超えた広域利用が可能であることなども踏まえ、本市独自の見直しは行わず、近隣他市と同様に国の給付額を基準として利用料の額を設定した。

●その他の審査議案

・一般会計補正予算

厚生委員会

医療情報基盤・診療報酬審査支払機構の役割と機能は《大阪府後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議》

問 今回の提案は、医療法等の一部を改正する法律の施行により社会保険診療報酬支払基金の名称が医療情報基盤・診療報酬審査支払機構に変更されることに伴う本規約の変更を行うものである。

新たな機構の役割と機能について問う。

答 新たな機構の役割と機能については、これまでの支払基金では診療報酬請求書

の迅速かつ適正な審査や支払いをはじめ、医療情報の収集・整理・分析とその結果の活用に係る事務を行ってきたが、今後はオンライン資格確認やシステム基盤開発等で培ったノウハウを医療DXに係るシステムの開発と運用に生かし、これまで以上に良質かつ適切な医療を効率的に提供できる体制を構築していくものと聞き及んでいる。

●その他の審査議案

・一般会計補正予算

土木消防委員会

高規格救急自動車と災害対応特殊救急自動車の仕様及び財源の違いは《動産の取得》

問 今回取得する高規格救急自動車及び災害対応特殊救急自動車の2台について、主要諸元等を確認する限り、同一仕様の車両であると見受けられるが、その認識でよいのか、見解を問う。

また、両車両の運用上の位置づけ及び財源にどのような違いがあるのか問う。

答 両車両はいずれも同一仕様の車両である。

災害対応特殊救急自動車については、緊急消防援助隊に登録する車両として位置づけるものであり、大規模災害や特殊

災害が発生した際には、被災地等への応援活動に出場するものであるが、平時においては、高規格救急自動車と同様、通常の救急活動に活用することとなる。

また、財源面では、高規格救急自動車は通常、市の単独経費により取得するものであるが、今回は、市民からの寄附金を活用して取得するものである。

一方、災害対応特殊救急自動車については、国の交付要綱に基づく補助金を活用して取得するものである。

●その他の審査議案

・ラブホテル建築規制条例の一部改正など



提出議案等 賛成:○ 反対:× 欠席:欠 投票:投 除斥:除 退席:退 全員異議なし:(全) 賛成多数:(多) 議長は採決には加わりません。	議決結果	大阪維新の会池田		自民党保守の会		池田未来の会				公明党		未来はぐくむプロジェクト		日本共産党		無所属							
		土田麻衣	三宅正起	安黒善雄	古川裕倫	笹村有理子	小林義典	浜地慎一郎	沖本純子	松本康二	中田正紀	西垣智	坂上昭栄	下野明	藤本昌宏	多田隆一	荒木真澄	園部佳子	倉田晃	名村研二	山元建	藤原美知子	守屋大道
〈5月臨時会〉																							
専決事項の指定に係る処分報告について 専決指定第1号 損害賠償の専決処分について	報告	報告案件のため議決不要																					
処分報告について 専決第3号 池田市市税条例の一部改正について	承認(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
処分報告について 専決第4号 令和7年度池田市病院事業会計補正予算(第4号)	承認(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
処分報告について 専決第5号 令和7年度池田市一般会計補正予算(第16号)	承認(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
債権の放棄に係る報告について	報告	報告案件のため議決不要																					
池田市市税条例の一部改正について	原案可決(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池田市監査委員の選任について	同意(全)	○	除	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度池田市一般会計補正予算(第2号)	原案可決(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議長辞職の許可について	許可(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議長の選挙について	終結	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投
副議長辞職の許可について	許可(全)	○	除	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
副議長の選挙について	終結	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投
議会運営委員会委員の選任について	選任(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
常任委員会委員の選任について	選任(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
常任委員会委員長の選任について	選任(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
常任委員会副委員長の選任について	選任(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大阪府都市ポートレース企業団議会議員の選挙について	終結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別委員会委員の選任について	選任(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別委員会委員長の選任について	選任(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別委員会副委員長の選任について	選任(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
〈6月定例会〉																							
令和7年度池田市病院事業会計予算繰越計算書について	報告	報告案件のため議決不要																					
令和7年度池田市水道事業会計予算繰越計算書について	報告	報告案件のため議決不要																					
令和7年度池田市公共下水道事業会計予算繰越計算書について	報告	報告案件のため議決不要																					
令和7年度池田市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告	報告案件のため議決不要																					
池田市地域会館条例の制定について	原案可決(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の退職手当に関する条例及び池田市立幼稚園型認定こども園の教育職員の退職手当に関する条例の一部改正について	原案可決(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池田市指定管理者による公の施設の管理に関する条例の一部改正について	原案可決(多)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
池田市立幼稚園型認定こども園条例の一部を改正する条例の一部改正について	原案可決(多)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
池田市ラブホテル建築規制条例の一部改正について	原案可決(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
共同利用施設条例の一部改正について	原案可決(多)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及び大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議について	原案可決(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大阪府後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	原案可決(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動産の取得について	原案可決(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動産の取得について	原案可決(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動産の取得について	原案可決(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池田市公平委員会委員の選任について	同意(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池田市農業委員会委員の任命について	同意(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦に関する諮問について	同意(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度池田市一般会計補正予算(第3号)	原案可決(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度池田市一般会計補正予算(第4号)	原案可決(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
柴本町コミュニティセンター跡地再整備事業請負契約の締結について	原案可決(多)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○

- ①前例踏襲に対する考え方について
- ②本市のDX化の定義について
- ③概算人件費等の事務事業別配賦について



ふるかわ ひろのり
古川 裕倫
議員

大阪維新の会池田



問1 市長が掲げる前例踏襲にとらわれないとする考え方を、職員一人一人の行動や組織文化としてどのように浸透させるのか。

答 前例踏襲にとらわれず、常に業務改善や廃止を検討する姿勢は、非常に重要。事業検証と見直しを繰り返すことの重要性を学ぶマネジメント研修や民間企業幹部職員を招いての実現力講座等を通じて、職員の行動や組織文化への浸透を図る。

問2 本市のDX化の定義は、単なる書類の電子化ではなく、作業や仕事のプロセスを減らしてからデジタル化することか問う。

答 池田市DX推進指針において、DXとはデジタル技術の活用と業務変革の両方の要素を満たすものと定義している。

問3 概算人件費や間接経費を事務事業別に配賦すべきではないか。

答 業務は多様化・複雑化しており、分析コストに対し得られるデータの正確性や活用可能性は限定的で、配賦するためには課題がある。

- ①学校と留守家庭児童会の支援員との連携強化
- ②学校給食費無償化における非喫食者への対応
- ③学校施設整備への児童・生徒アンケート活用



つちだ まい
土田 麻衣
議員

大阪維新の会池田



問1 コミュニティ・スクールは単なる制度導入ではなく、学校・家庭・地域が共通の目標を持つことが重要である。現在の学校運営協議会には、留守家庭児童会の支援員の視点が十分に反映されていないと考えるが、連携強化について見解を問う。

答 学校運営協議会の委員の推薦は学校長によるものであり、学校・地域の実情により、留守家庭児童会の支援員が加わることも可能。

問2 学校給食費無償化に関して、給食を喫食していない児童・生徒への対応について本市の対応は。

答 アレルギーや疾病等により学校給食を喫食できない児童・生徒への支援について具体的な手続を検討している。

問3 令和6年度に児童・生徒に実施された学校施設改善に関するアンケートの丁寧なフィードバックを求めるが、活用状況を問う。

答 アンケート調査の結果は、未来を見据えた学校づくりのための学校施設整備審議会に報告し、施設整備への活用に努めている。

- ①栄本町コミュニティセンター跡地及び周辺施設の再整備等について
- ②池田市における桜の保全及びクビアカツヤカミキリ対策について



おきもとじゅんこ
沖本 純子
議員

自民党保守の会



問1 コミセン跡地再整備後の一時避難地としての活用と周辺の消防団施設・自治会防災倉庫等の一体的な再配置について見解を問う。

答 一部解体・改修工事に着手し、令和10年春の供用開始を目標としているコミセン跡地は、広場と減築した建物が一体となった整備を予定。避難場所機能についてや、消防団、自治会防災倉庫等の移転・集約・再配置についても検討を進めていく。

問2 クビアカツヤカミキリの被害状況と防除対策並びに桜の保存会等の地域団体の防除活動に対する資材費等支援の見解を問う。

答 本市では、令和7年8月に初めてクビアカツヤカミキリの被害を確認。桜の多い道路や公園等を重点的に11月頃まで巡回を実施する。被害が確認された樹木に対しては殺虫剤の注入、ネット巻等の対策、施設管理者の意向による伐採対応等、迅速な対応を行っている。桜の保存会等の地域団体が実施する防除活動に対しては、現時点では、財政的な支援の必要性は低いと考えている。

- ①お盆期間の留守家庭児童会の実施を求める
- ②学校による行事の違いの捉え方を問う



なむら けんじろう
名村 研二郎
議員



未来はぐくむプロジェクト

問1 留守家庭児童会について、お盆期間の実施を望む声がある。働き方の多様化が進む中、利用ニーズやお盆期間の実施についてどのように考えているのか。近隣自治体の状況を含めて見解を問う。

答 北摂7市において、お盆期間に開設していないのは本市と摂津市のみと把握。今後はお盆期間中の開設も含め、ニーズ調査を実施した上で、引き続き運営の改善に向けた取組を進めていく。

問2 学校によって、例えば臨海学舎や平和登校日の有無、運動会での応援合戦や紅白対抗の有無などに違いがあるが、本当に地域や子どもたちの実態に応じた特色によるものなのか、それともコロナ禍や働き方改革を契機とした見直しの結果なのか、改めて見解を問う。

答 コロナ禍や働き方改革を契機に進んできた側面があると認識。様々な体験格差がある中、学校行事を通じて得られる達成感や経験は重要であると認識。教育的意義やねらいを各校と確認しながら、児童・生徒の活動が充実した学校行事となるよう指導・助言していく。

- ①大阪国際空港が特定利用空港の候補対象となったことについて
- ②くれは音楽堂で車椅子の方が舞台上がるための機能整備について



そのべ けいこ
園部 佳子
議員



未来はぐくむプロジェクト

問1 大阪国際空港（伊丹空港）が特定利用空港の候補対象に含まれたが、どのように認識しているのか。騒音や住民の安全・安心への影響に強い懸念を持っている。今後の情報収集や対応についての見解を問う。

答 国の資料によると、特定利用空港は平素から訓練で自衛隊の利用を想定している。制度趣旨や運用内容、騒音や安全対策等、国による丁寧で十分な説明が必要。騒音等の環境面や安全面への配慮を前提に検討されるべき。今後、国の説明会が予定されており、市議会からの質問も踏まえ、事前質問を提出した。大阪国際空港周辺都市対策協議会と連携しながら情報収集に努め、市議会にも共有していく。

問2 万博資材の大屋根リングが活用されるくれは音楽堂の舞台に、車椅子の方も上げられるように整備をお願いしたいが、見解を問う。

答 スロープの設置は施設の構造上難しいが、昇降機の設置は、令和7年度の基金積立を財源として購入できないか検討していく。

- ①ファミリーサポート事業の周知について
- ②公教育における指定制服の現状について
- ③子ども参画の指標と評価の可視化について



ささむら ゆりこ
笹村 有理子
議員



大阪維新の会池田

問1 ファミリーサポート事業は、援助会員は1時間千円の報酬に、利用者は500円の負担で利用できるようになった。事業の周知は。

答 チラシの配布、ホームページや広報誌への掲載など、会員数の増加と相互援助活動の活性化を図っていく。

問2 制服の指定や費用について、各学校ではどのような指導を行っているのか。

答 着心地や快適性に配慮した制服の導入を進めており、費用についても保護者負担への配慮が重要。生徒の実情に配慮し、指定以外の衣類の着用も認めるなど各学校において柔軟な対応が図られている。

問3 自治体施策への子どもの関わりには、仕組みづくりも重要。指標や評価などを取り入れた可視化に対する見解は。

答 事務事業評価シートは、各施策推進に当たってのPDCAサイクルの実施に向けた基礎資料で、庁内横断的な視点での指標設定や評価もできる。

- ①五月山動物園の有料化議論について
- ②新病院事業管理者の今後の取組について



しも さこ
下 窄
あきら 明
議員



池田未来の会

問1 五月山動物園の有料化議論について、現在の指定管理者であるみどりスポーツ財団のみならず、専門家やファンも招いて協議する場を設け、五月山動物園の今後の在り方を考えるべきではないか。

答 五月山動物園の持続的な運営に向けて入園料の徴収等を研究したい。提案にあった専門家等にはヒアリングを行うなどの方法で案を練り、リニューアルオープンを見据えて議論を前に進めたい。

問2 新たに病院事業管理者として前病院長の尾下氏が就任され、経営のかじ取りに期待が高まっているが、豊能二次医療圏における市立池田病院の役割を見据えた今後の方針を問う。

答 地域の方々の命と健康を持続的に守り続ける責務を託されたものと身の引き締まる思い。人口減少や高齢化が進む将来が予測されており、市立池田病院を取り巻く環境も大いに変わることから、10年先を見据えた取組が必要と考える。当面は急性期医療を担う地域の基幹病院としての役割を果たすことが肝要であると考えている。

- ①五月山動物園再整備後の運営方針について
- ②五月山大一文字がらがら火祭りの取扱いは
- ③今後の学校施設整備について



さが みしょう えい
坂上 昭栄
議員



池田未来の会

問1 入園料について、市民は無料を基本とし、市民・市外料金の区分、年間パスポート制度の導入など、配慮ある料金体系について問う。

答 他園館の料金制度も参考にしながら、子育て世帯や高齢者、障がいのある方に配慮した利用しやすい料金体系を検討する。

問2 令和7年度の城山町の祭礼では御神火の継承方法が従来と異なって見受けられた。無形民俗文化財は伝承や作法、儀礼そのものに価値があると考えているが、見解を問う。

答 池田愛宕神社ではなく、京都の愛宕神社の御神火を使い、お礼も変更。基本的な事柄は継続し、変化するものと認識。

問3 競技環境の変化を踏まえ、学校施設に高さ調整式バスケットゴールの導入など、子どもから大人まで幅広い世代が利用できる環境整備について問う。

答 地域のスポーツ活動に効果的である。バスケットゴールの更新の際には、他の設備整備との優先順位を考慮しつつ、検討していく。

- ①ギフテッドの特性に応じた学びにつなげていく必要性について
- ②中学校部活動地域展開における吹奏楽の活動拠点は



もり ひろ 守屋 大 道
議員



無 所 属

問1 特定の分野で突出した才能を持つ、いわゆるギフテッドの可能性がある児童・生徒を早期に発見し、その能力や特性に応じた学びにつなげていく必要性について問う。

答 中教審の論点整理では、特異な才能のある子どもが約2%いると示されているが、明確な定義がないため、IQ130以上と仮定して算出された数値であると認識。国において制度や支援の在り方の検討が進められている。本市も国の動向を注視しているところ。子どもの成長を鑑み、優秀者の選抜ではなく、学校生活における不適応や困難さの軽減に注力し、一人一人に必要な学びの保障が重要であると認識。

問2 吹奏楽は楽器の管理や保管、移動に負担があることから、学校施設を地域クラブの活動拠点とする考えについて見解を問う。

答 吹奏楽の活動拠点については、現在は部活動も並行して行われているため、音楽室等の利用には課題があるものの、将来的には学校の教室等で実施できるよう調整を進めたいと考えている。

- ①暑さ対策としてクレパへの日よけ対策は
- ②猪名川河川敷オープン利用と防災面の整備は
- ③市内一円の植栽管理を一元管理できないか



あ くら よし お
安 黒 善 雄
議 員



大阪維新の会池田

問1 未就学児が楽しく遊んでいる池田駅南広場クレパにおいて、暑さ対策として、テントや噴水装置などの設置は検討できないか。

答 手作りタープを7月中旬頃までに設置予定。ミストや水を活用した取組も費用対効果や維持管理面を踏まえながら、検討していく。

問2 猪名川河川敷のオープン利用をすべき。現在雑木でごみ詰まりも。防災の観点からも整備が必要。ドッグランやBBQも可能では。

答 木部町地域が令和7年度まで加速化対策として河道掘削が行われた。今後は尼崎市、豊中市域と隣接する地区とのこと。河川事務所と連携を図り、猪名川の魅力を生かした利活用を探っていく。

問3 「植木のまち池田」と標榜している割に、植栽管理がされていない。特に街路樹の下や総務部が担当する市役所前の植栽管理について、縦割りの各担当部署に任せず、一元管理できないか。

答 維持管理方法は多岐にわたり、実施時期にも制約がある。現時点では各担当部署に任せるほうが迅速かつ実情に沿った対応が可能。

- ①部活動の地域展開における本市と国の方針との違いについて
- ②地域クラブへの予算措置とトラブル等の責任の所在について



み やけ まさ き
三 宅 正 起
議 員



大阪維新の会池田

問1 本市は令和10年度から部活動を廃止して地域展開する方針。国の方針が昨年12月に、平日の部活動を存続しつつ休日を地域クラブとする変更。国が課題山積を踏まえ変更した中、なぜ本市は部活動を廃止して地域展開を推し進めようとするのか、見解を問う。

答 国は令和13年度までに休日部活動の地域展開の完了と可能な地域から平日の地域展開を進める方針。近隣市も地域展開を進めている状況であり、教員の働き方の見直し等や地域クラブの自立自走を目指すためにも一定時期での部活動の終了が現実的。

問2 地域クラブへの予算措置とトラブル等の責任の所在について問う。

答 地域クラブについては、持続可能な実施体制を維持し続けるために、受益者負担を前提とした自立自走したクラブ運営を求めている。責任の所在については、活動中の事故やトラブル等は、基本的に地域クラブが負うことを地域移行計画や仕様書等に明記している。

- ①持続可能な食品ロス削減に向けた循環型社会への取組を
- ②学校給食の残食削減と食品ロスの改善を



ふじ もと まさ ひろ
藤 本 昌 宏
議 員



公 明 党

問1 消費者庁が提唱する「食の環」の1つに、食品ロス削減があるが、「作る・食べる・捨てる」という従来型の構造から、「循環させる」仕組みへの転換が求められている。そこで、食品ロスの見える化や食品残渣データの活用、余剰食品と支援を必要とする方々をつなぐマッチングの仕組みなどに、ICTやデジタル技術を活用しては。

答 食品ロス削減に当たり、ICTやデジタル技術を活用し、より効果的で効率的な手法の検討は重要である。今後も他市の最新事例等を研究していく。

問2 学校給食の食品ロス削減は、子どもたちの未来につながる重要な施策である。また、我慢して食べることを求めるのではなく、自然と食べなくなる仕組みづくりが重要である。食べ残しの削減においては単なる努力目標ではなく、残食率削減等の数値目標を設定しては。

答 残食量の見える化及び残食率削減の数値目標の設定は、重要な課題。他市の事例を参考に、具体的な数値目標を検討していく。

- ①第7次総合計画における基金残高の目標値について
- ②池田市公共施設再整備事業計画について



なか た まさ のり
中田正紀
議員

池田未来の会



問1 池田市の貯金である財政調整基金が直近3か年で大きく減少している。こうした状況を踏まえ、本市として財政調整基金の適正残高をどの程度と考えているのか。また、第7次総合計画期間中における基金残高の目標値を持っているのか、見解を問う。

答 財政調整基金残高は20億円以上を目標値としている。依然として厳しい財政状況が続く中、今後の行財政改革を図る上で、財政調整基金残高を含む財政指標に関し、目標値の明示化は必要と認識しており、公表すべき指標や設定値、公表時期などの検討を進めている。

問2 公共施設再整備事業計画の短期再整備事業に位置付けられている共同利用施設について説明会が開催されたと聞いているが、内容について問う。

答 再整備の必要性や集会機能の集約化について説明し、一定のご理解をいただいた一方で、各施設が有する防災機能や地域拠点機能に加え、それぞれの歴史的背景に基づく意見を多く伺った。

- ①非核三原則の今後の在り方について
市長の所見を問う
- ②高齢者やリスクの高い人に向けてはコロナ感染予防の丁寧な周知を



あら き ま すみ
荒木眞澄
議員

公明党



問1 国の基本方針・国是である、非核三原則「核兵器を持たず・作らず・持ち込ませず」の今後の在り方について、市長の所見を問う。

答 世界で唯一の戦争被爆国である我が国にとって、非核三原則は平和主義を支える重要な基本原則であると認識。地方自治体として、平和を希求する理念を大切にしながら、市政運営に取り組んでいく。

問2 新型コロナウイルス感染症が5類移行後、感染者数は減ってきたが、感染して亡くなる人は年間3万人を超え、依然として高い水準にある。そこで、高齢者や基礎疾患があり重症化リスクの高い人に向けては、ワクチンの有効性を丁寧に周知し、接種しやすい環境を整えるべきと考えるが、見解を問う。

答 引き続き医療機関と連携し、高齢者等の重症化リスクの高い方へ、定期接種の勧奨やワクチンの有効性についての周知に努めていきたい。また、自己負担額の軽減に向けた財源確保等については、国や大阪府に要望していく。

- ①市内公共交通の課題と新たな交通手段の導入検討について
- ②実効性ある避難支援体制構築に向けた連携強化について



こばやし のり
小林義典
議員

自民党保守の会



問1 市内公共交通に対する課題と課題解決に向けた新たな交通手段の検討をどのように進めていこうとしているのか、見解を問う。

答 路線バスの利用者減少や運転手不足による減便、路線の一部廃止などにより、移動に不便を感じている市民がいることが課題と考えている。この課題解決に向け、デマンド交通や乗合タクシー、シェアサイクルなど多様な交通手段を活用し、地域の実情に応じた利用しやすく持続可能な交通体系の構築に取り組んでいく。

問2 実効性ある避難支援体制の構築には、市がより主体となり、関係機関と緊密に連携を図る必要があると考えるが、見解を問う。

答 避難行動要支援者対策は、地域の協力だけでは限界があり、平時から民生委員やケアマネジャー等との関わりのある福祉部門との情報連携が不可欠と認識している。また、支援者の負担軽減には個人対個人の支援に加え、地域全体で支える体制が重要であり、地域避難支援協議会をはじめ、地域の負担軽減につながる取組を進めていく。

- ①中学校クラブ活動の地域展開は拙速に行わないこと
- ②学校給食の無償継続を
- ③野外活動センターの存続を



やま もと
山 元

たけし
建 議員



日本共産党

問1 中学校のクラブ活動の地域展開については、制度面や教育効果の担保、非常時の対応と責任の所在、さらには学校間のばらつきなど解決すべき点がある。一律実施を急ぐべきではない。

答 課題を克服しながら、令和10年度に地域展開していく。

問2 2.4億円の財政調整基金の積立て増（25年度決算予想）が生じており、年1.5億円の中学校給食費も無償継続できるのではないか。

答 国の支援を求めつつ、市の財政状況を見て考える。

問3 貴重な自然が残る市立野外活動センター（猪名川町）を存続・活用すべきだ。

答 再利用には制約があり困難。今後の取扱いについては検討。

- ①文字どおり学校教育費無償化推進の池田市へ
- ②補聴器購入助成制度の実施で難聴対策支援を



ふじ わら みちこ
藤 原 美知子

議員



日本共産党

問1 「教育費無償の原則」というのであれば、教育にかかる費用は、給食費にとどまらず、修学旅行、遠足、自然教室、制服、ドリル等の補助教材、卒業アルバムなど、全て無償とすること。さらに、給付型奨学金制度や学生支援の実施で定住につなぎ、地域活性化につながる施策を実施してはどうか。

答 全児童・生徒を対象とした無償化については、現時点では厳しい。給付型奨学金制度については、現在「くすのき奨学金」を実施しており、学生の生活支援についても重要性を認識し、食料品配布事業をはじめとする取組を行っている。

問2 高齢者の2人に1人は難聴と言われる中、補聴器購入費助成制度は全国の自治体に広がっている。本市でも実施し、高齢者のひきこもりを防ぎ、元気に過ごせるよう支援してはどうか。

答 まずは国において制度の創設が望ましいと考え、現時点では本市独自の助成制度の創設は考えていない。

市議会の1年カレンダー

市議会では、1年を通じて予算や条例、決算など、市政に関する重要な事項を審議しています。本市議会の主な流れは次のとおりです。

3月 定例会

新年度の予算案を審議します。
市の1年の事業やお金の使い道を
確認する大切な時期です。

5月 臨時会

正副議長や各委員会委員の選出
を行います。



6月 定例会

条例改正や補正予算など、
市政に関する議案を審議し
ます。

9月 定例会

条例改正や補正予算など、
市政に関する議案を
審議します。



10月 決算委員会

前年度の予算が適正に使
われたかを確認するため、
決算の審査を行います。



12月 定例会

条例改正や補正予算など、
市政に関する議案を審議し
ます。

議会日誌

月 日	内 容
5 11	各派代表者会議 議会運営委員会
14	市議会臨時会 各派代表者会議 議会運営委員会
6 1	各派代表者会議 議会運営委員会
4	市議会定例会 市議会だより編集 特別委員会
11	土木消防委員会
12	厚生委員会
15	文教病院委員会
16	総務委員会

月 日	内 容
6 29	各派代表者会議 議会運営委員会 市議会定例会
30	市議会定例会 議会運営委員会
7 8	空港・交通問題調査 特別委員会
9	市議会だより編集 特別委員会
16	市議会だより編集 特別委員会
22	まちづくり防災 特別委員会

議会の予定

9月定例会は、次の日程で開催する予定です。本会議・委員会はいつでも傍聴できます。開会は、いずれも午前10時からの予定です。(定員あり)。

月 日	曜 日	内 容
9 3	(木)	本 会 議
4	(金)	委 員 会
7	(月)	委 員 会
8	(火)	委 員 会
11	(金)	委 員 会
24	(木)	本 会 議
25	(金)	本 会 議

やまばと

この市議会だよりがお手元に届く頃、池田のまちは今年も暑さ極まる季節となっていることと思います。

さて、本市においては長引く物価高騰対策として、国の交付金を利用し、上下水道料金の基本料金の減免や若者への食料品支援、プレミアム付デジタル商品券などの事業がされてまいりました。そして秋からは追加策として高齢者応援事業が行われます。65歳以上の方に3千円分のギフトカードが送付されますので、御活用いただければと思います。

今号で記念すべき200号となるいけだ市議会だより。日頃からの御愛読に感謝いたします。190号からは紙面を大きくリニューアルしました。見える議会、開かれた議会を目指す中で、市議会だよりは市民の皆様への大切なお便りです。これからもより分かりやすい紙面づくりをしてまいりたいと思いますので、御感想、御意見や御提案をお待ちしております。

市議会だより編集特別委員会



「声の市議会だより」を 郵送で貸し出します

市内にお住まいの視覚障がいのある方（障がい者手帳をお持ちの方）に、「声の市議会だより」を無料で、郵送により貸し出しています。
お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせは議会事務局
(電話) 754・6170

- 委員長 坂上 昭栄 ●副委員長 園部 佳子 (前列左から)
- 委員 笹村有理子 藤本 昌宏 藤原美知子 小林 義典 (後列左から)

いけだ市議会だより No.200
令和8年(2026年)8月1日発行

編集発行：池田市議会 <https://www.city.ikeda.osaka.jp/>
〒563-8666 大阪府池田市城南1丁目1番1号
TEL.072-754-6170 FAX.072-753-5414

